



1. 日本イェイツ協会第53回大会報告
2. 2018年年度IYSとの合同大会について
3. 合同大会の参加費について
4. 寄贈本について
5. 会費納入のお願いとお知らせ(重要)
6. 『イェイツ研究』原稿募集
7. 会員の住所・所属等の変更について

1. 日本イェイツ協会第53回大会報告

2017年度の年次大会を11月18日(土)、19日(日)に中央大学多摩キャンパスにおいて開催しました。開催校を快くお引き受けくださった三好みゆき氏には、協会会計の業務を兼任されるなか準備から大会終了まで運営に多大なるご尽力をいただきました。また、お手伝いくださった中央大学の学生の皆様にもたいへんお世話になりました。心より御礼申し上げます。

初日は、基調講演、研究発表3本、シンポジウム、2日目は、研究発表3本、ワークショップというプログラムで構成されました。まず初めに、会長の奥田良二氏による開会の挨拶、つづいて中央大学人文科学研究所所長秋山嘉氏によるご挨拶があり、所用のため大会への参加が叶わなかった駐日アイルランド大使 Anne Barrington 氏からのメッセージが事務局長により代読されました。ご多用のところお時間をいただいた両氏のご厚意に深く感謝いたします。

基調講演では、浅井雅志氏(京都橘大学)が「仮面の詩人と素顔の詩人——イェイツとロレンス」(司会 奥田良二氏)と題し、イェイツとロレンスの比較を通して、両者に新たな光を当てる刺激的な議論を展開くださいました。

今年度の総会は、司会を西谷茉莉子氏が担当し、議長として原田美知子氏を選出。2016年度収支決算並びに2017年度(2017.4.1~2018.3.31)予算案が承認され、編集委員長石川隆士氏により『イェイツ研究』48号の編集状況、『イェイツ研究』投稿規定の内規変更、国際イェイツ協会(IYS)との翻訳掲載に関する合意が報告され、併せて国際イェイツ協会NY大会参加報告が行われました。さらに、事務局長の諏訪より2018年度IYSとの京都合同大会の開催について進捗状況が話されました。

午後には、木村俊幸氏(帝京大学)が「イェイツの薔薇と初期の恋愛詩」(司会 伊里松俊氏)、片岡由美子氏(愛知県立大学)が「スパークの『死を忘れるな』におけるイェイツの「塔」」(司会 小堀隆司氏)、岩坪友子氏(法政大学)が「イェイツの塔プロジェクト——“To be

Carved on a Stone at Thoor Ballylee”の変遷をめぐって」(司会 小堀隆司氏)と題し研究発表。つづいて榎木伸明氏(早稲田大学)の司会・構成によるシンポジウム「イェイツ再読——〈世界文学〉として(2)」があり、パネリストに鈴木暁世氏(金沢大学、外部講師)、諏訪友亮氏(東京農業大学)、岩田美喜氏(立教大学)を迎え、第50回大会ワークショップの続編として、日本、アメリカ詩、イギリス演劇においてイェイツがどう読まれたのかが詳細に検討されました。その後の情報交換会(司会 松村賢一氏)では、協会員同士の親交を深めるとともに、この1年に出版された協会員の著作が紹介され、それぞれの著者から簡単なお話をいただきました。

翌2日目の午前中に高橋優季氏(青山学院大学)が「W. B. イェイツとスコットランドのアーツ・アンド・クラフツ運動:「小さな歌う鳥」Phoebe Anna Traquair」(司会 松村賢一氏)、及川和夫氏(早稲田大学)が「イェイツとアイルランド自由国」(司会 伊達直之氏)、中尾まさみ氏(東京大学)が「The Spirit Level における平衡と運動性」(司会 大野光子氏)とそれぞれ題し研究発表。午後には、柿原妙子氏(専修大学)司会・講師によるワークショップ「教室の英詩、教室のイェイツ——英語教育をあきらめないために」を行いました。パネリストとして伊東裕起氏(東洋大学)、中村麻衣子氏(首都大学)、阿部曜子氏(津田塾大学、外部講師)、田代尚路氏(大妻女子大学、外部講師)を迎え、イェイツを大学で教えることの意義について様々な視点から熱心な議論が交わされました。今年度より、ワークショップはパネリストの持時間を短くし、より気軽に、よりフロアと意見を交換できるように形式を改めました。次年度以降も、会員の皆さまが参加しやすいワークショップ作りを目指して参ります。

今回の大会は、イェイツの学術研究を進めるとともに、しばらくのあいだ顔を合わせていなかった協会員の方々が旧交を温める機会となりました。また、協会の財政事情のため謝金をお支払いできないにも関わらず、遠方より外部講師の方々にご参加いただき、イェイツ研究に貢献くださったことは、大変貴重で有難い出来事でした。来年度は国際イェイツ協会(IYS)との合同大会も予定されており、今後も出来る範囲内で外部との交流を図っていく所存です。

2. 2018年年度IYSとの合同大会について

第54回大会は国際イェイツ協会(IYS)と合同で開催いたします。日程は12月15日(土)、16日(日)に、

場所は京都大学百周年時計台記念館に決定いたしました。

今大会は全て英語で行われ、施設使用料、イベント開催料を賄うため参加者には別途参加費をお支払いいただくことになっております。参加費については次項をご覧ください。

研究発表をされる方を募集しております。発表をご希望の方は、協会ホームページの「Kyoto Symposium 2018」のページをお読みのうえ、**7月末日**までに、タイトルと250 wordsの概要、英語表記の所属名を事務局 (info@the-yeats-society-of-japan.jp) にお送りください。大会実行委員会がテーマごとに、皆さまの発表を振り分けます。ご不明な点などございましたら、いつでも事務局にお問い合わせくだされば幸いです。

3. 合同大会の参加費について (別紙あり)

本大会では京都大学時計台記念館の使用、二日間のイベント、レセプションやコーヒー・紅茶の休憩などに多額の経費がかかり、これらの費用はご発表されるかに関わらず参加される皆さまの参加費によって賄われます。

海外からの参加者は180ドル(学生は160ドル)の参加費を願いますが、イエイツ協会員は年会費に大会費用も若干含まれているとの観点から、16000円の参加費にいたしました。例年の大会にはない費用のためご負担となり恐れ入りますが、ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

大会に参加される方は、下記「会費納入のお願いとお知らせ」にある協会の口座へ**9月末**までに**16000円**を年会費とは別にお振込み願います。

4. 寄贈図書

・榎木伸明 訳、ウィリアム・トレヴァー『ふたつの人生』、国書刊行会、2017年10月。

・榎木伸明 訳、コラム・トビーン『ノーラ・ウェブスター』、新潮社、2017年11月。

・奥田良二『「フィンネガンズ・ウェイク」のプロローグを読む——riverrunからphoenishへ』、春風社、2018年1月。

・中央大学人文科学研究所 編『モダニズムを俯瞰する』、中央大学出版部、2018年3月。(当協会員 真鍋晶子氏ご寄稿)

寄贈くださいました著者の方々に厚く御礼申し上げます。

5. 会費納入のお願いとお知らせ (重要)

別紙「会費納入状況のお知らせ」をご覧ください。一般7000円、学生3000円(2017年度以降)を下記協会口座へお振込み願います。2016年度以前の会費(一般5,000円、学生2,000円)をまだ納入されていない方は、お振込の際に振込人名の前後に年度の数字を入力していただければ幸いです。2015年度以降会費納入が確認されない場合、協会からの発送物をお届けできなくなる恐れがございます。また、2017年度委員会において、未納のつづく方が1年度分をお振り込みになった場合は、2年度前の会費に充当することが承認されました。協会は、会員の皆様方の会費で運営されております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。詳しくは同封の納入に関する書類をご覧ください。

振込先：ゆうちょ銀行

*ゆうちょ口座からお振込

総合口座 ニホンイエイツキョウカイ
口座記号 10100
口座番号 51712871

*他の金融機関からお振込

普通預金：ニホンイエイツキョウカイ
店名：〇一八(ゼロイチハチ、セ〜で検索)
店番：018
口座番号：5171287
(振込できない場合は51712871)

6. 『イエイツ研究』原稿募集

『イエイツ研究』49号の原稿を募集しております。締切は2017年5月末日です。詳細につきましては、同封の『イエイツ研究』48号投稿規定をご覧ください。皆さまの積極的な投稿をお待ちしております。

7. 会員の住所・所属等の変更について

会員の皆様の住所・メールアドレス・所属等の変更につきましては、お手数をおかけし恐縮ですが、メールもしくは郵便等で下記の事務局までお知らせください。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



<日本イエイツ協会は、日本学術会議協力団体の登録団体です>

*****The Yeats Society of Japan*****

日本イエイツ協会事務局
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
東京農業大学 国際食料情報学部
教養分野 諏訪研究室内
Email: tomoaki.suwa@gmail.com
URL: the-yeats-society-japan.jp